

みんなで考える新たな施設ワークショップの主な意見

テーマ	主な意見・内容(抜粋)
松山の文化の「誇り」「じまん」	・俳句や「坊っちゃん」、「坂の上の雲」などの文学 ・「市民全員が文化人」、アーティストが多い ・能が盛んで、能舞台付き小ホールがある ・小劇場演劇の劇団が多く、公演も多い
ここで「やりたいこと」	・小規模な発表会・公演、子ども達の音楽発表会、クラシック、著名人のコンサート、音響が良いコンサート ・落語寄席、能楽、句会ライブ ・芸術教育、文化教育 ・リハーサル利用、貸館利用 ・文化発信、交流
やりたいことを実現する空間と備品	・演劇・音楽などの活動ジャンルに応じた設備や、適正な規模 ・広い練習室や使いやすい楽屋 ・交流スペース、ダンスに対応した床材 ・十分な数のトイレ、エレベーター、バリアフリー対応 ・音響設備、搬入出に対応した設備 ・楽器庫、道具庫 ・完全防音、ピアノ ・発表、練習の場以外に舞台美術の製作場所 ・平日、日中は子育て支援、託児所、休憩スペース、ベンチ
訪れやすい、使いやすいルール	・(休館日)他施設とずらす ・(開館時間)貸室は時間を決めても、共用部はいつでもいける ・(貸出区分)主催、共催、貸館を年間であらかじめ枠を分ける、練習室は1時間単位 ・(利用料金)市民は低料金または無料、ポイント制、定期利用に定額制(サブスク)
これからのまちづくり、文化づくり、にぎわいづくりのために	・松山のために頑張りたい人が頑張れる場を ・市民会館の検討会を早急に立ち上げる ・熱い市民を巻き込む、市民の声を大切に ・ワークショップの意見をつなぐ ・文化施設用地の早期確保 ・市民が気軽に利用できる施設 ・収益性の検討